

# 3ポイントらくらくライナー

## 取扱説明書

この度は本品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

※ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」の「あらかじめご承知頂きたい事と使用上の注意」をよくお読みください。

お読みいただいた上で、ご理解ご納得いただけない方は、ご利用になる前に返品してください。(返品は購入後7日以内、送料はお客様ご負担でお願いします)

### -目次-

あらかじめご承知頂きたい事と使用上の注意	1
セット内容	2
各部の名称	3
本体の組立て方	4~8
本体組立て後の持ち運び方	9
3ポイントラインの引き方	10~11
ノーチャージセミサークルラインと センターサークルラインの引き方	12
旧3ポイントラインの貼り消し方	13~14
バスケットコート図	15~16

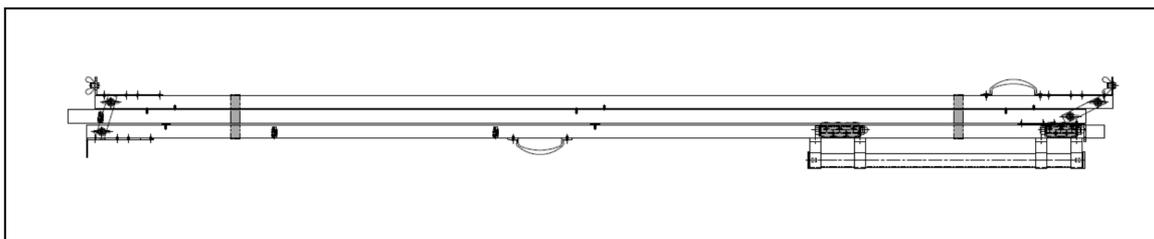
## あらかじめご承知いただきたい事と使用上の注意

- 本品は体育館施設におけるバスケットコート曲線の伸縮テープ（別売）で貼り引く為のコンパスガイドとして使用してください。
- 実際に貼れるラインの半径は、規定寸法より1cm程度ずれる場合があります。
- 本品の本体部分は木製です。多少のねじれや反りが生じることがあります。
- 保管場所には注意してください。気温の高い所や温度差のはげしい所は本体のねじれや反りの原因となります。湿度の高いところでの保管は腐食の原因となります。
- 収納時は、本品を横にして置くか、もしくは垂直にして保管してください。（斜めの状態で長時間保管すると反りの原因となります）また、本品の上に物を乗せて保管しないでください。
- 本品のセッティング及び使用は、説明書に従って必ず2人で操作してください。（1人で操作したり、所定以外の位置で操作するとジョイント部分が破損するおそれがあります）
- セッティング又は収納時にジョイントプレートの角に触れるとけがをする危険があります。ご使用時には特にご注意ください。また、接合時には手や指をはさまないようにご注意ください。
- ポイント用蝶ボルト及びポイント用木エビスは先端が鋭利になっていて触れるとけがをする危険があります。ご使用時には特にご注意ください。
- コンパスガイドのポイント（ポイント用蝶ボルト及びポイント用木エビス）は先端が鋭利になっている為、そのままご使用になると床に小さな穴や傷跡がつきます。床に傷跡を付けたくない場合は、付属の保護板を設置してからご使用ください。
- 圧接スポンジローラーは消耗品です。摩耗したり劣化した場合は部品の追加購入をしてください。（スポンジローラーは1個あたり¥400～¥600程度です）
- 伸縮テープは下記の推進テープをご利用ください。他のメーカーのテープでも使用できるものもありますが、テープが堅かったり本品には適合しないものもあります。  
《推進テープ》  
伸縮ラインテープ・・・モルテン TV0015（5cm幅×25m×4巻き入り）  
伸縮ライン消しテープ・・・モルテン TM0017（7cm幅×25m×4巻き入り）  
※テープの性能に関しましては各メーカーにお問い合わせください。（テープの擦り切れや剥がれ跡についての責任は負いかねます）
- 本品をご利用前に必ず、床面を清掃してください。ほこり等で汚れていると摩擦で床が傷つく原因となります。
- 本品の使用上のけがや事故、または破損等につきましては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。
- 説明書に従わない操作や使用又は老朽による破損につきましては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

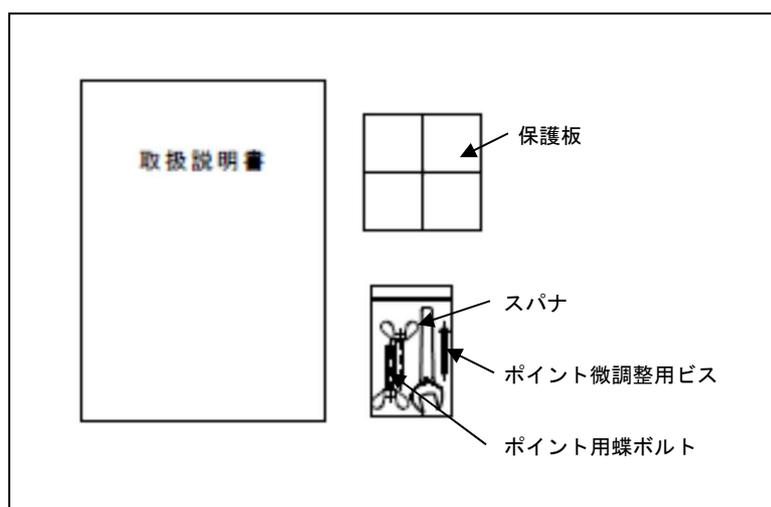
# セット内容

---

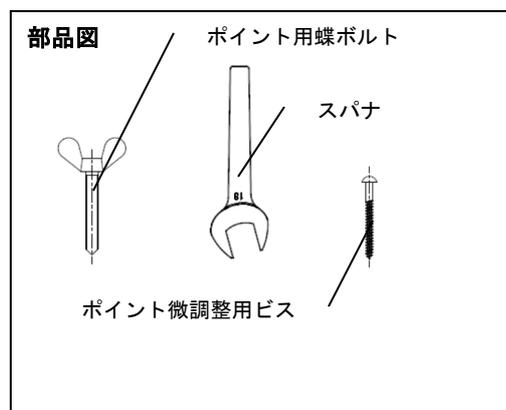
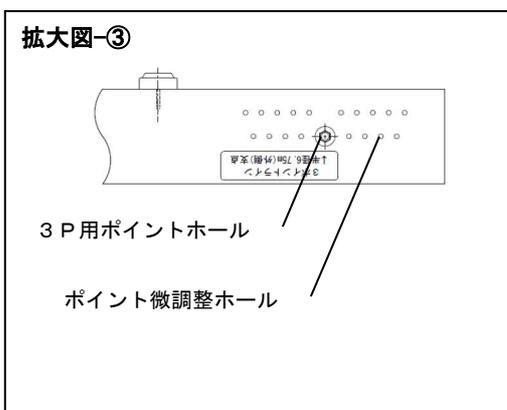
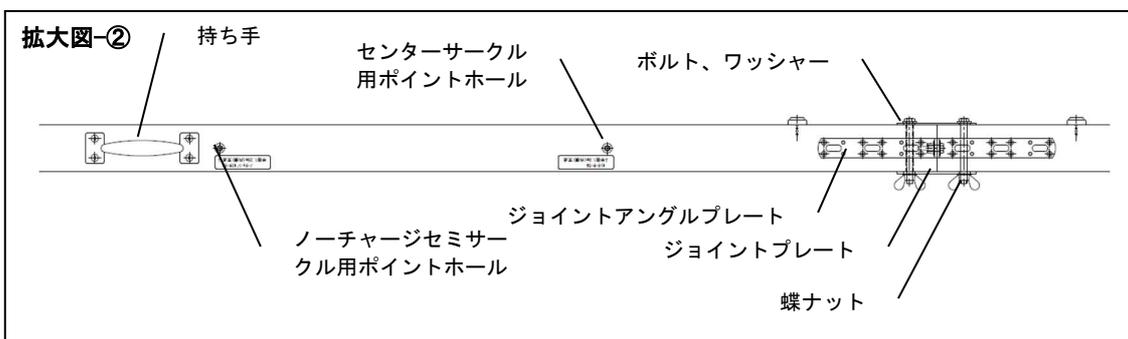
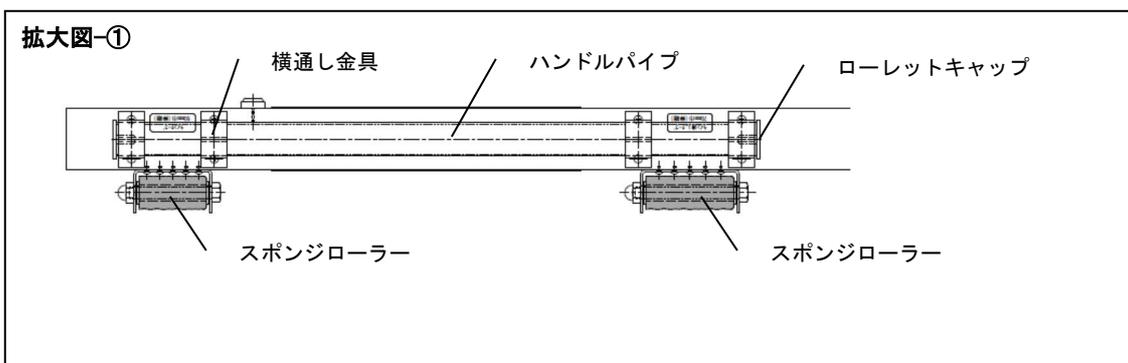
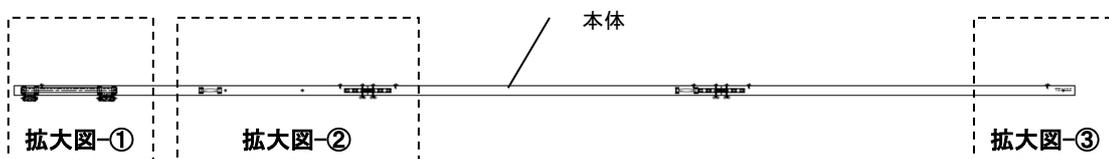
- 本体×1



- 取扱説明書×1
- 保護板×1
- スパナ×1
- ポイント用蝶ボルト×2（内1コは予備）
- ポイント微調整用ビス×1



# 各部の名称



# 本体の組立て方

- ① 結束バンドをはずします（図-1・写真-1）



写真-1

- ② ジョイントアングルプレートに付いている蝶ナット、ボルト、ワッシャーを外します（図-1・写真-2）※蝶ナット、ボルトを外さずに本体を広げると、ジョイントアングルプレートが曲がったり、破損する恐れがありますのでご注意ください。



写真-2



# 本体の組立て方

③ 本体を図-2→図-3の順に広げます（写真-3・写真-4）

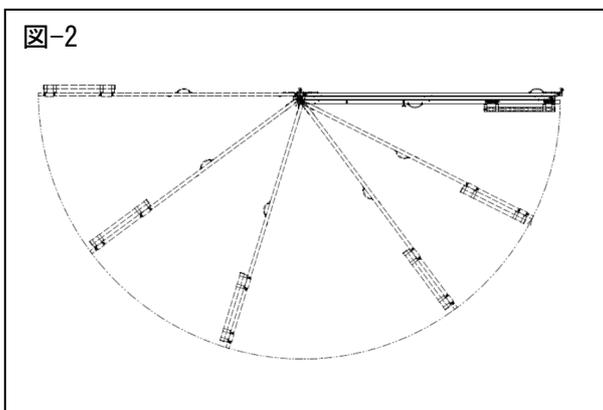


写真-3

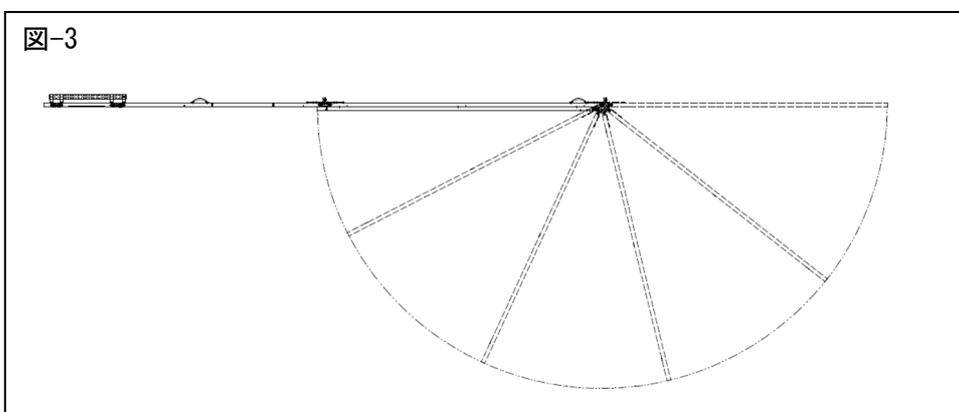


写真-4

# 本体の組立て方

- ④ 本体を床に水平に置きジョイントアングルプレートがずれないように重ね合わせます（写真-5・写真-6）

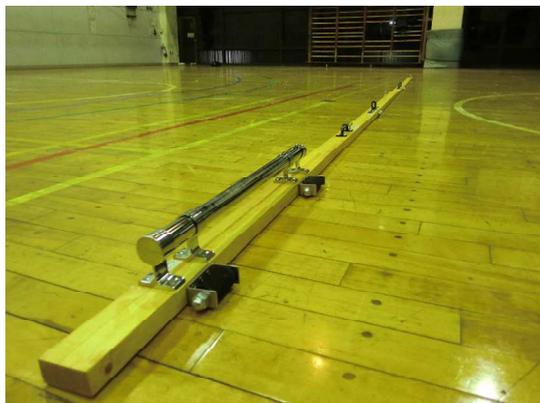


写真-5



写真-6

- ⑤ 重ね合わせたジョイントアングルプレートの貫通穴に②で外した蝶ナット、ボルト、ワッシャーをはめ込み、付属のスパナでしっかりと締めこみます（図-4・写真-7）

次に、ジョイントプレートの蝶ナット、ボルトをスパナでしっかりと締めこみます（写真-8） この時、蝶ナットの蝶型部分が本体と水平になるように締めこんでください。蝶型が縦になっていると床が傷つく恐れがあります。

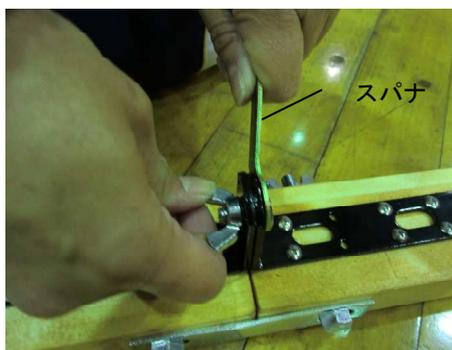
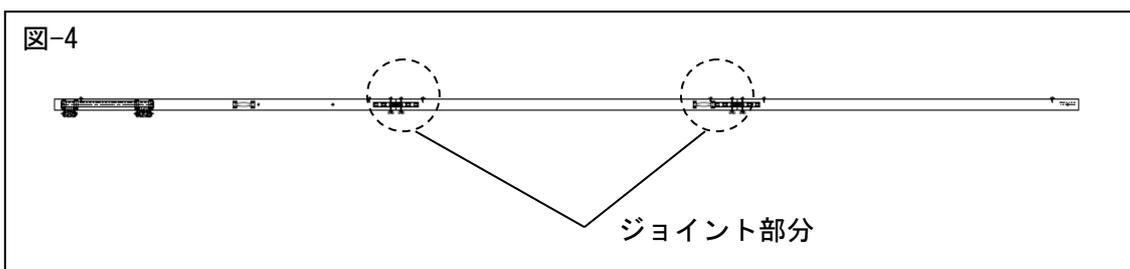


写真-7



写真-8

# 本体の組立て方

- ⑥ ポイント用蝶ボルトをポイントホールに装着します。  
しっかりとピン先が出るように締めこみます（写真-9・写真-10）



写真-9



写真-10

- ⑦ 伸縮ラインテープ（別売）を装着します。  
『ラインテープ50mm幅』と表示されている所のローレットキャップをハンドルパイプから左に回して外します（写真-11）

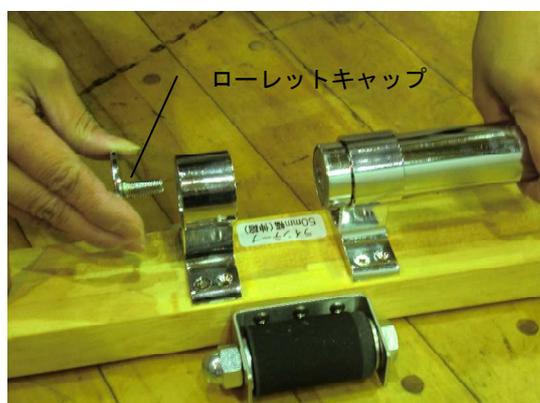


写真-11



写真-12

次に、伸縮ラインテープを粘着面が上に向くようにしてハンドルパイプに装着してローレットキャップを締めこみます（写真-12）

## 本体の組立て方

---

⑧ 伸縮ライン消しテープ（別売）を装着します。

『ライン消しテープ70mm幅』と表示されている所のローレットキャップをハンドルパイプから左に回して外します（写真-13）



写真-13



写真-14

次に、伸縮ライン消しテープを粘着面が上に向くようにしてハンドルパイプに装着してローレットキャップを締めこみます（写真-14）

## 本体組立て後の持ち運び方

- ① 本体組立て後は、下の写真のように必ず2人で且つ両手で持ち運んでください（写真-15・写真-16・写真-17）

※1人で持ち運んだり、所定の位置で持たないととジョイント部分に負担がかかり破損する恐れがあります。



写真-15



写真-16



写真-17

## 3 ポイントラインの引き方

---

- ① ポイント用蝶ボルトを『3 ポイントライン支点』表示部分のポイントホールに装着します（写真-17）

※装着の仕方は7 ページの「本体の組立て-⑥」を参照。



写真-17

- ② 伸縮ラインテープ（別売）を『ラインテープ50mm幅』表示部分のハンドルパイプに装着します（写真-18）

※装着の仕方は7 ページの「本体の組立て-⑦」を参照。



写真-18

## 3ポイントラインの引き方

---

- ③ 本体を少し持ち上げラインテープを20cm程度引張り出します。次に、スポンジローラーを経由して本体の下面からテープを引きだします（写真-19）



写真-19

- ④ 一人は『3ポイントライン支点』のポイント用蝶ボルトが支点からずれないように軽く押さえます。（支点部分の床に小さな穴や傷跡を付けたくない場合は、付属の保護板を支点の床にテープで貼り付けて、しっかり固定してから支点を設置してください）

もう一人がハンドルパイプを両手で握り、床面に軽く押し当てるようにして引き進みます。（写真-20）

※強く押し当てると、床に傷がつく恐れがあります。また、床がほこり等で汚れていると、摩擦で床に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。



写真-20

※貼り引いたテープの上からモップやウエス等で圧接すると、しっかり貼れます。

# ノーチャージセミサークルラインと センターサークルラインの引き方

- ① ポイント用蝶ボルトを『ノーチャージセミサークル支点』表示部分または、『センターサークル支点』のポイントホールに装着します（写真-21・写真-22）

※装着の仕方は7ページの「本体の組立て-⑥」を参照。



写真-21



写真-22

- ② ~④の手順は「3ポイントの引き方-②~④」と同じ手順。



写真-23

※ノーチャージセミサークルラインとセンターサークルラインを引く場合は、3連本体の状態からハンドルパイプ本体だけを離脱させて操作してください。

# 旧3ポイントラインの貼り消し方

- ① ポイント用蝶ボルトを『3ポイントライン支点』表示部分のポイントホールに装着します（写真-24）

※装着の仕方は7ページの「本体の組立て-⑥」を参照。

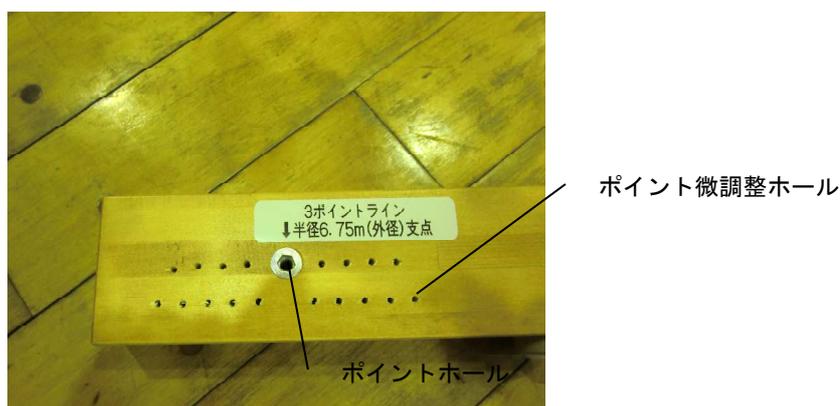


写真-24

※旧3ポイントラインの位置が合わない場合は、ポイント微調整ホールに付属のポイント微調整用ビスをプラスドライバーでねじ込んで、ラインに合うように支点を作ってください。

- ② 伸縮ライン消しテープ（別売）を『ライン消しテープ70mm幅』表示部分のハンドルパイプに装着します（写真-18）

※装着の仕方は8ページの「本体の組立て-⑧」を参照。



写真-25

## 旧3ポイントラインの貼り消し方

- ③ 本体を少し持ち上げライン消しテープを20cm程度引張り出します。次に、スポンジローラーを経由して本体の下面からテープを引きだします（写真-26）

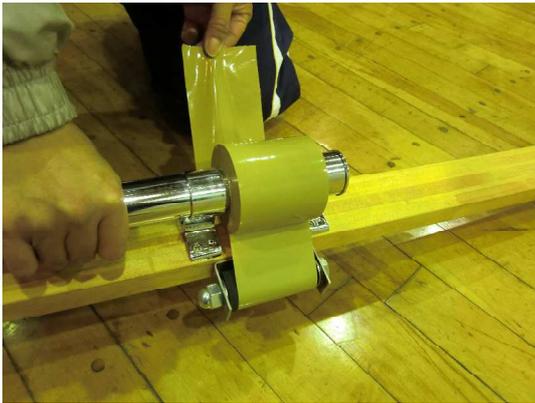


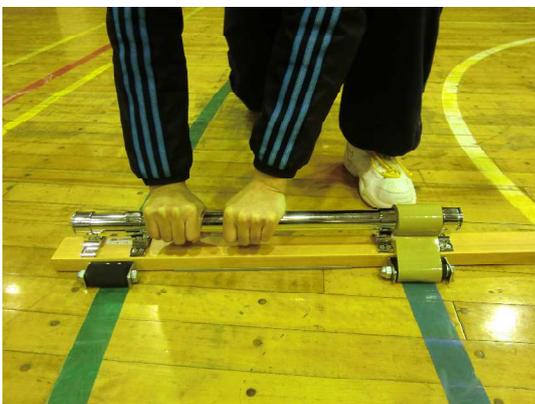
写真-26

- ④ 一人は『3ポイントライン支点』のポイント用蝶ボルトが支点からずれないように軽く押さえます。（支点部分の床に小さな穴や傷跡を付けたくない場合は、付属の保護板を支点の床にテープで貼り付けてしっかり固定してから支点を設置してください）

もう一人がハンドルパイプを両手で握り、床面に軽く押し当てるようにして引き進みます。（写真-27）

※強く押し当てると、床に傷がつく恐れがあります。また、床がほこり等で汚れていると、摩擦で床に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

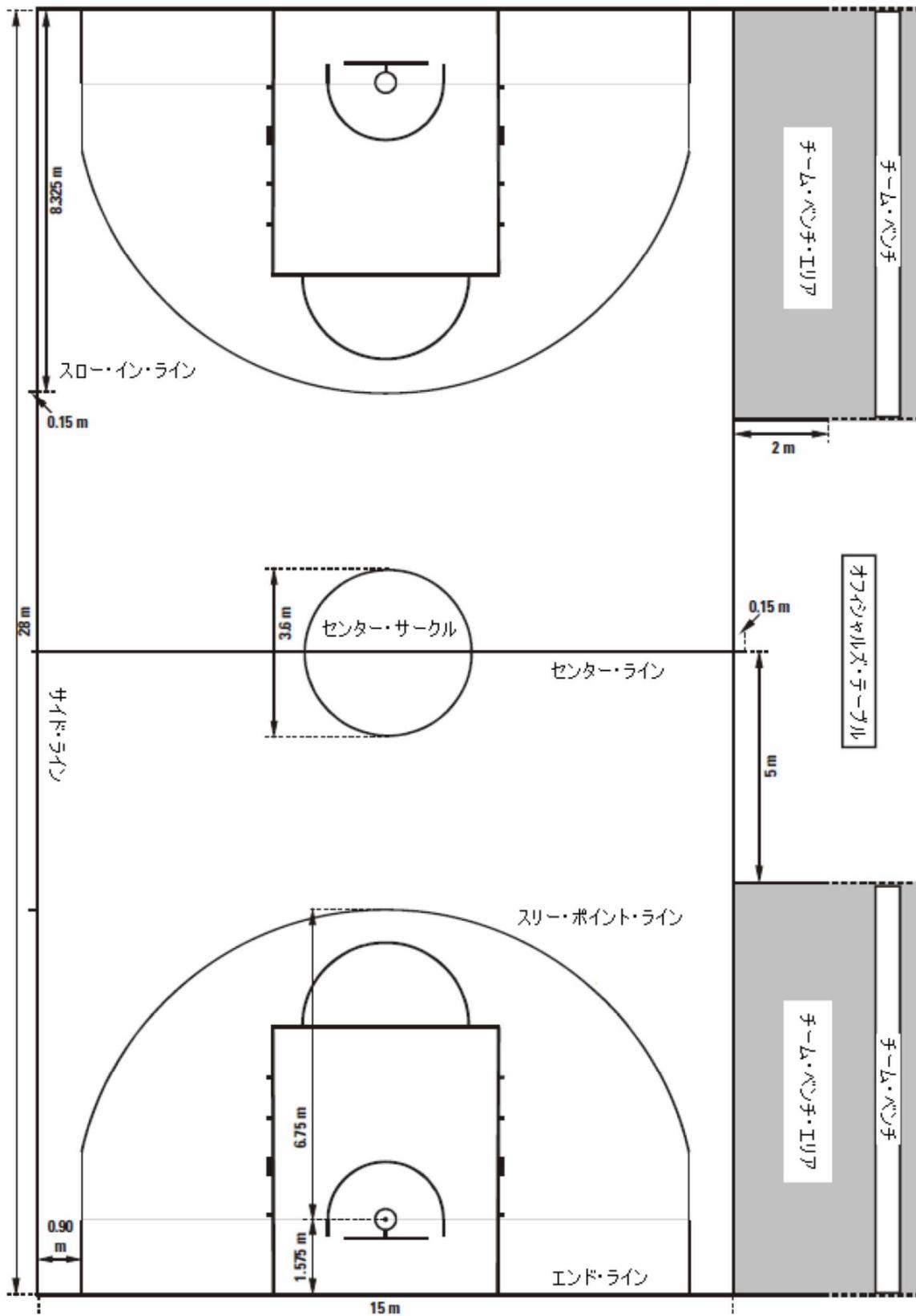
※ライン消しテープはテープ幅が広く、ラインテープよりも少し堅いので多少よれる事があります。また、床の状態が悪いと綺麗に貼れない場合があります。



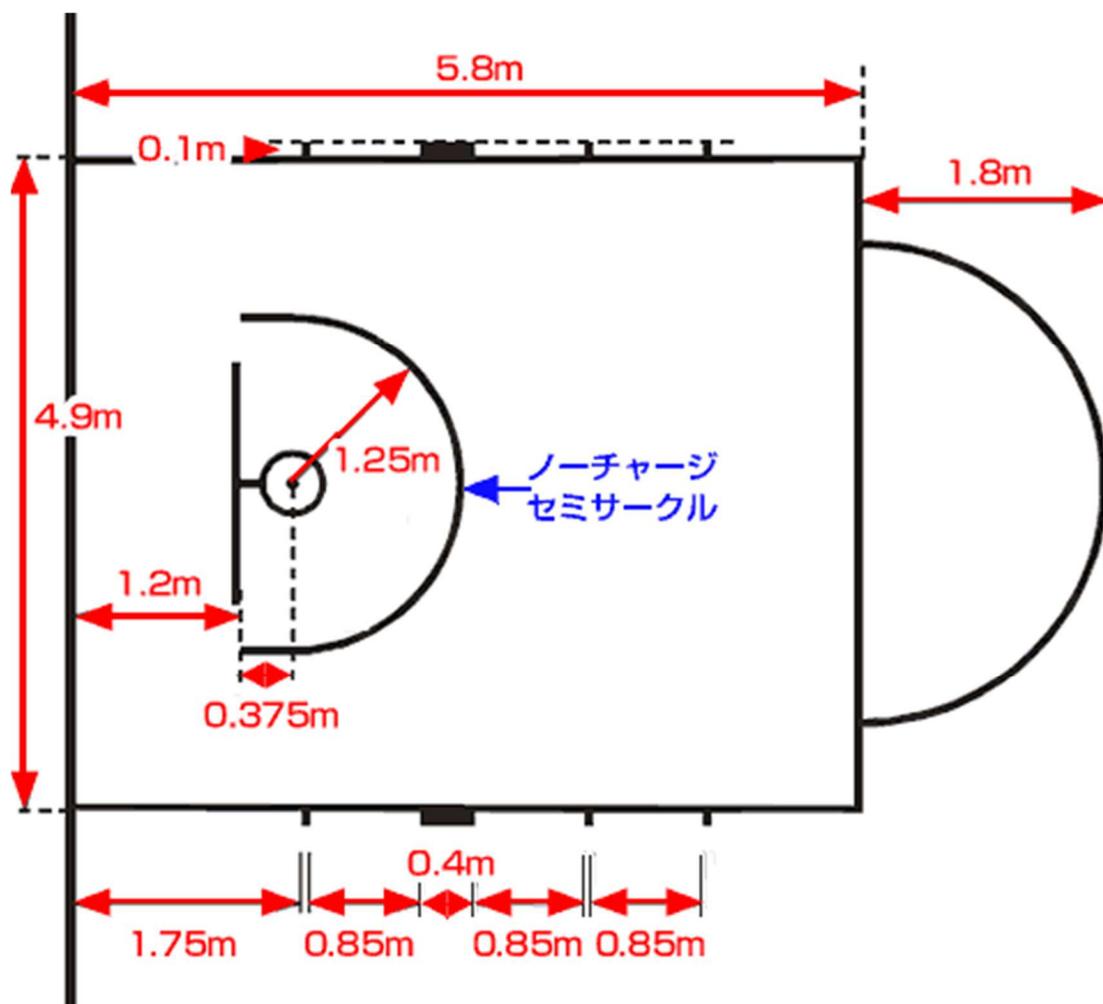
※貼り引いたテープの上からモップやウエス等で圧接すると、しっかり貼れます。

写真-27

# バスケットコート図



# バスケットコート図



**販売元**

**克己 TRUSTY OFFICE**

〒340-0052 埼玉県草加市金明町 1183-3

TEL:048(942)6207 / FAX:048(942)6251

<http://www.katsumi-to.com>

**製造元**

**有限会社 武巧**

〒334-0058 埼玉県川口市安行領家 1088-1

TEL:048(291)2206 / FAX:048(291)2207